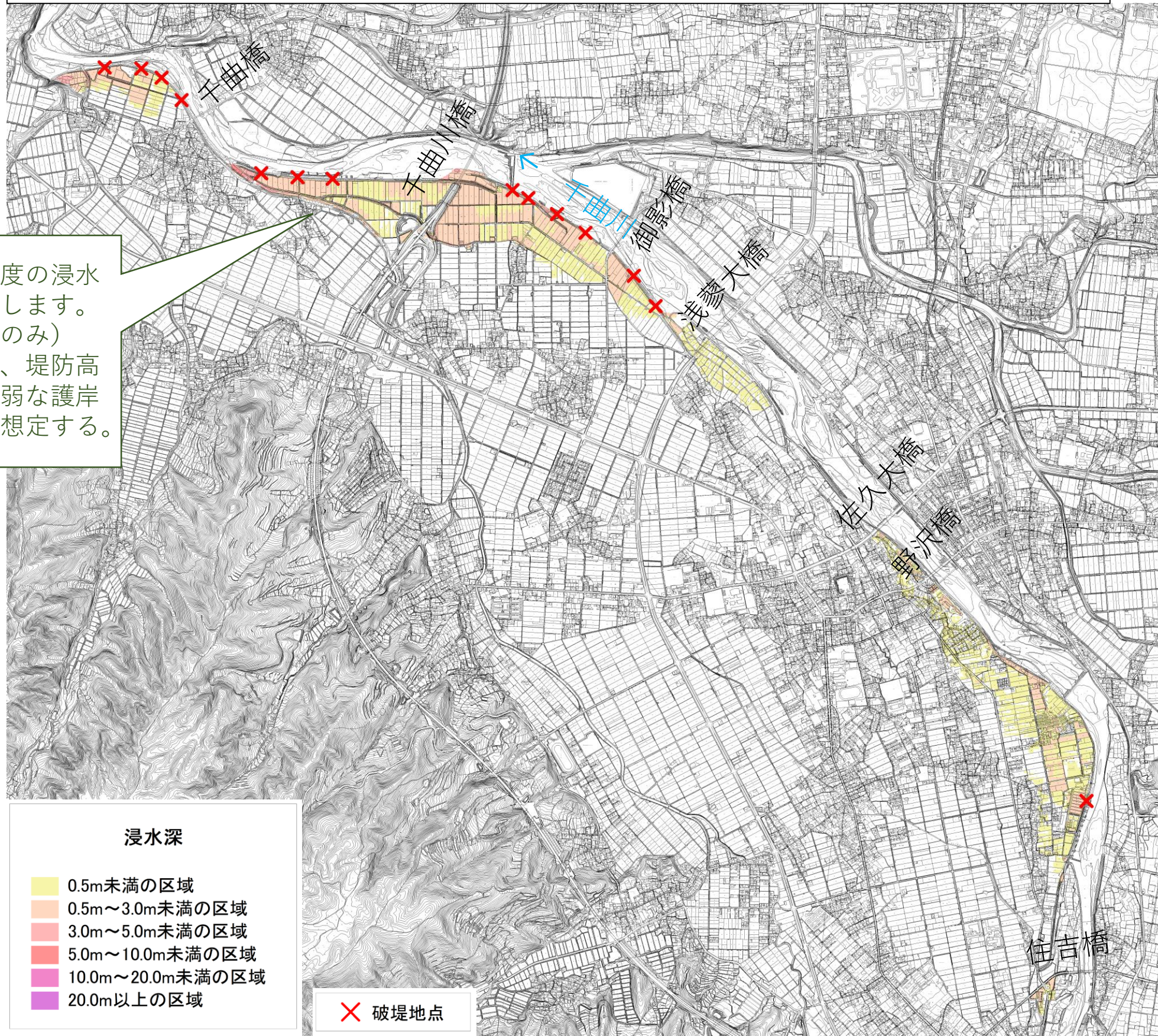


4. 遊水地計画に伴う安全性について

○計画規模降雨として、過去の既往最大降雨（S34.8）で千曲川左岸部を算出

100年に1度の浸水想定区域を示します。
(千曲川左岸のみ)
×破堤地点は、堤防高が低い又は脆弱な護岸箇所
で破堤を想定する。

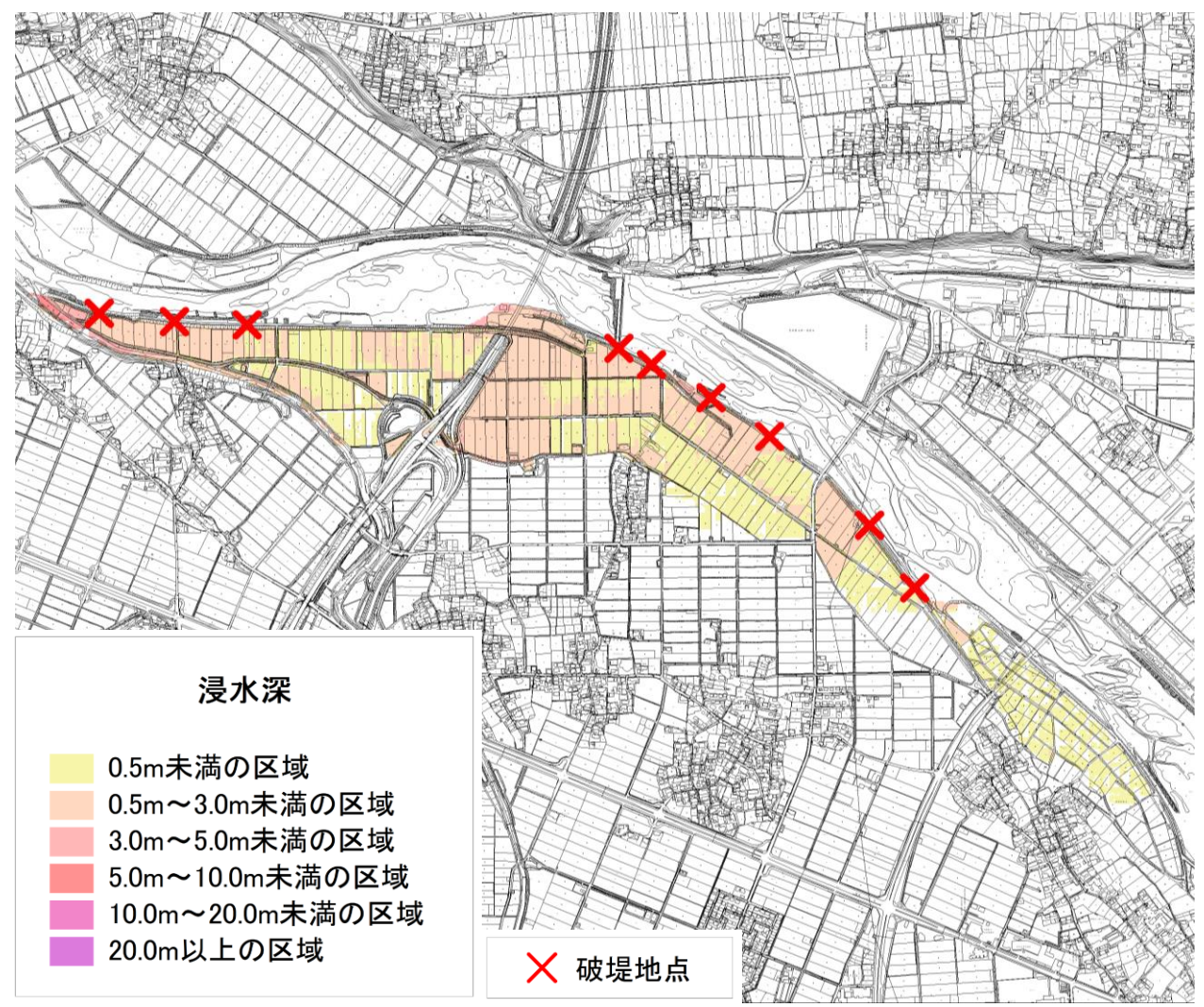


遊水地計画の有無の比較

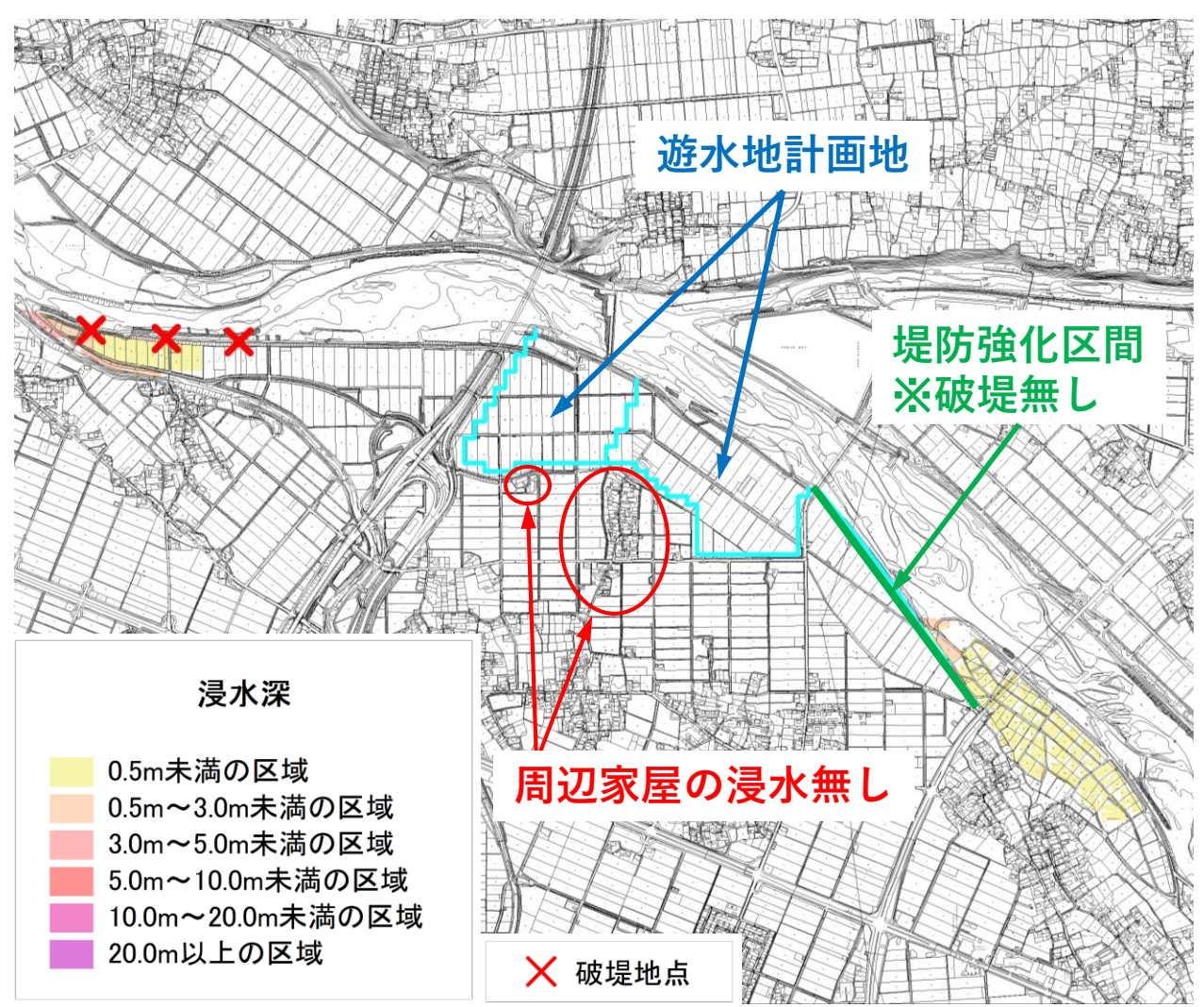
計画規模降雨における浸水想定「現況」と「遊水地+上流堤防強化」の比較

○計画規模降雨として、過去の既往最大降雨（S34.8）で千曲川左岸部を算出

現況の浸水想定



遊水地+上流堤防強化の浸水想定



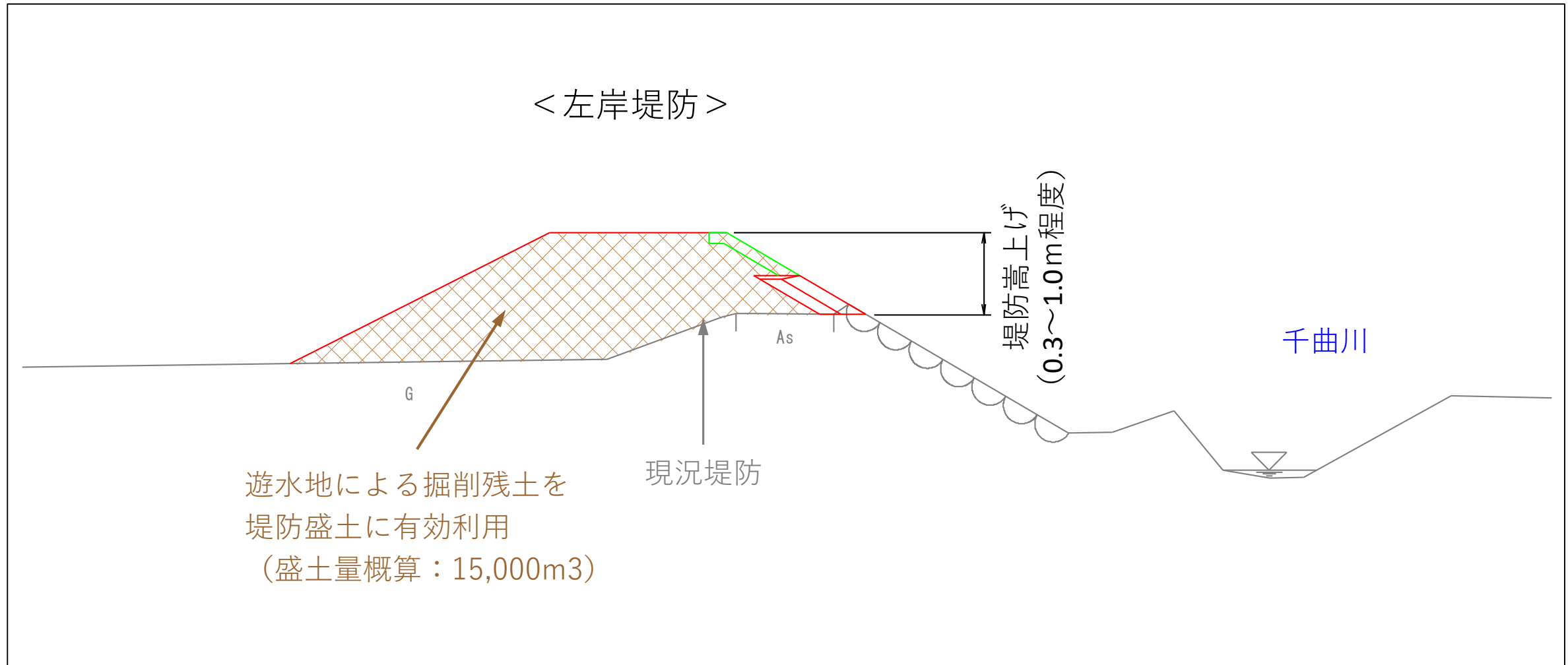
千曲川本川上流左岸状況 堤防強化断面

盛土嵩上工による堤防強化



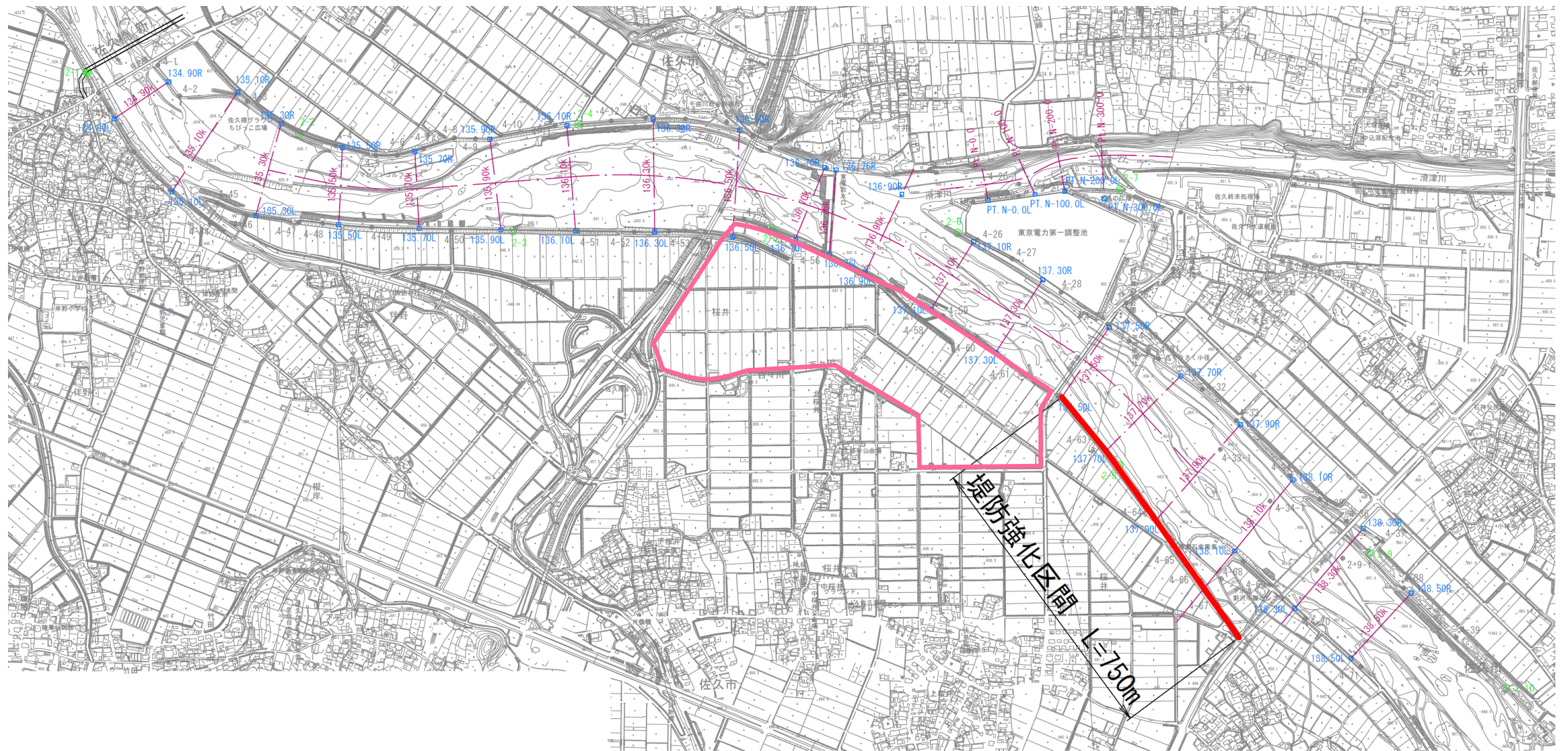
堤防強化断面図

現況堤防と堤防強化の例

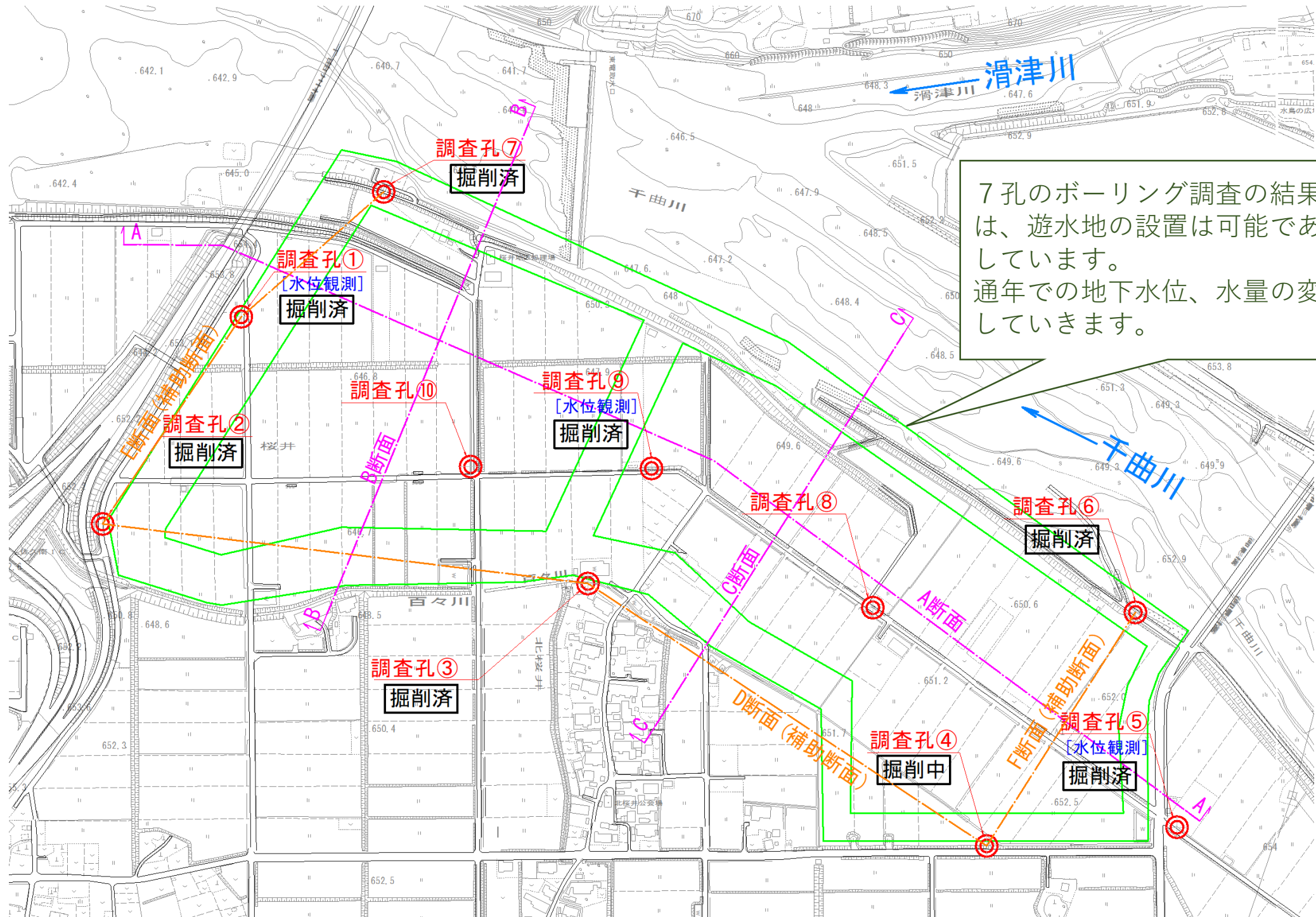


- 堤防の嵩上げによる越水・破堤対策のイメージ図です。
- 堤防嵩上げ盛土には、遊水地の掘削残土を有効利用します。
- 堤防の高さおよび構造の詳細は、設計段階で決定します。
- 堤防の嵩上げ高は、右岸の堤防高相当とした場合の高さを示しています。

堤防強化区間 L=750m



5. 地質調査による地下水位及び水量について



調査ボーリング 位置図 N = 10孔

地質調査期間 7月～10月 (予定)

断面図（河川縦断方向）

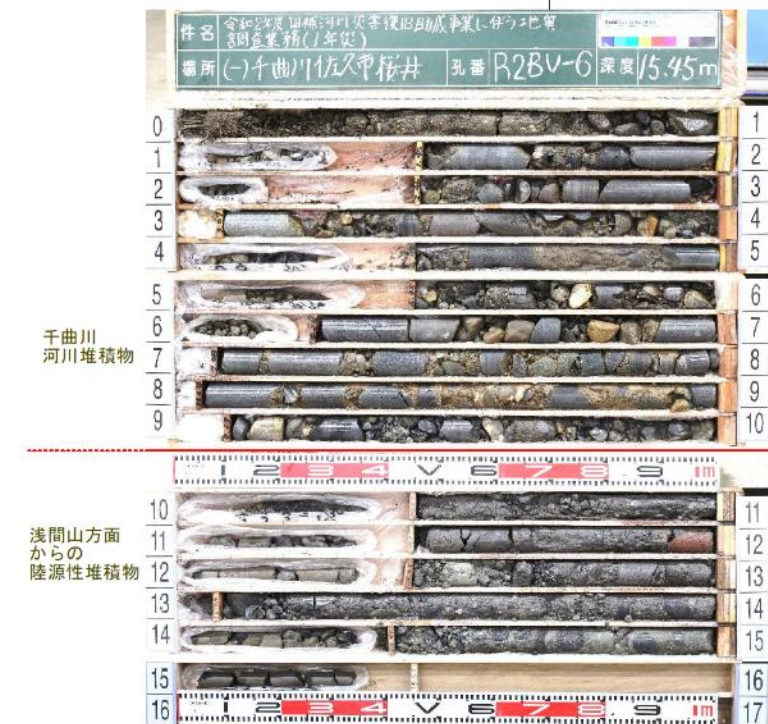
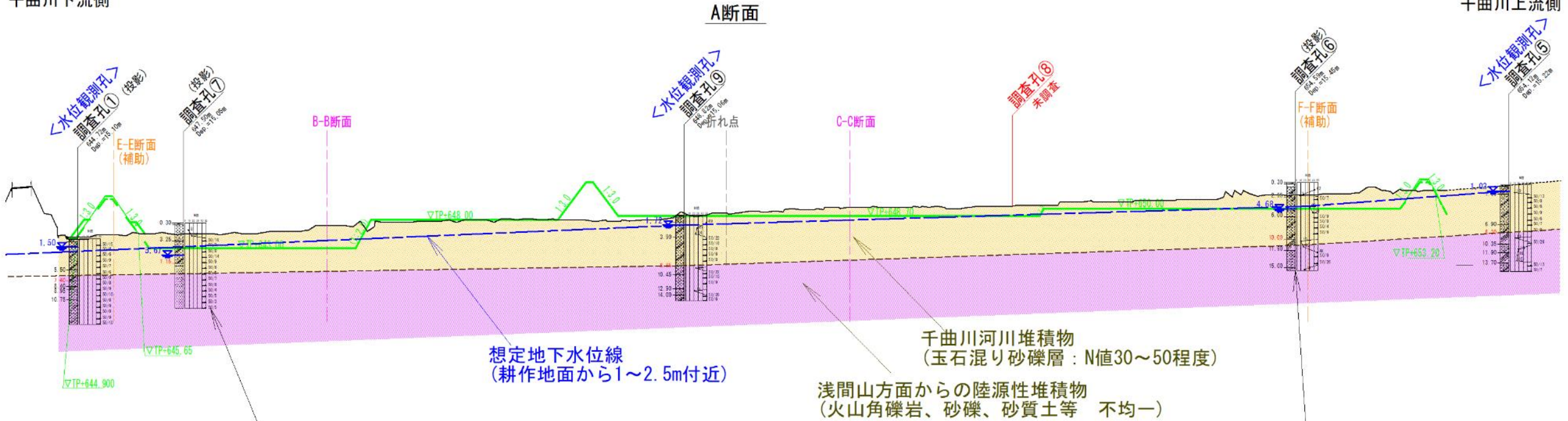
地層および地下水位は、ボーリング7本完了した段階の概略想定
詳細は、今後の調査によって明らかにしていく

縦：横=4：1



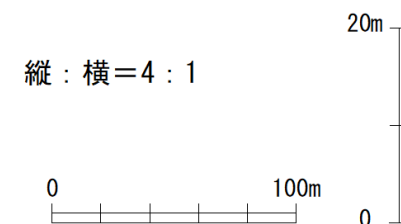
千曲川下流側

千曲川上流側

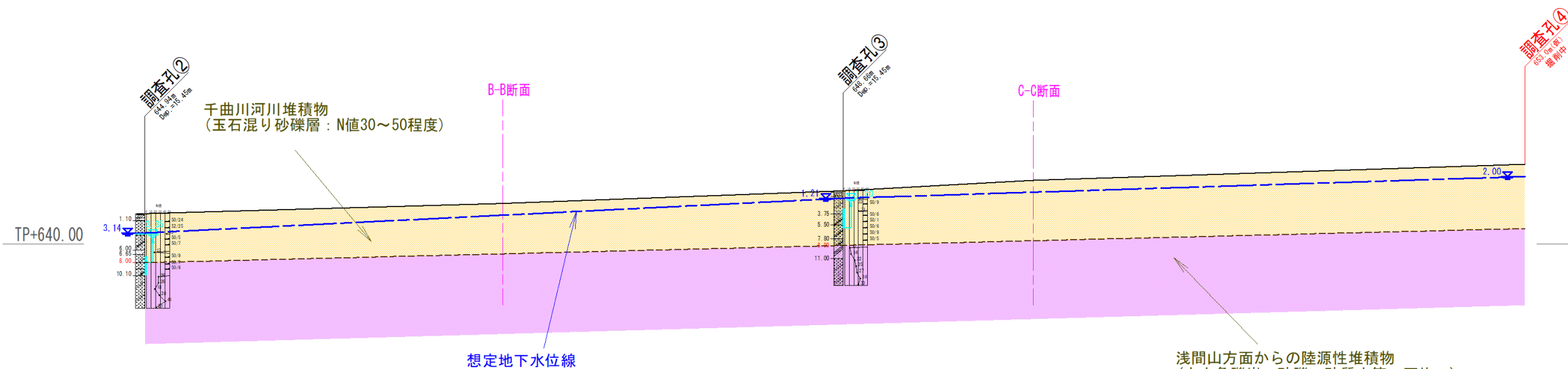


補助断面図 (新規追加)

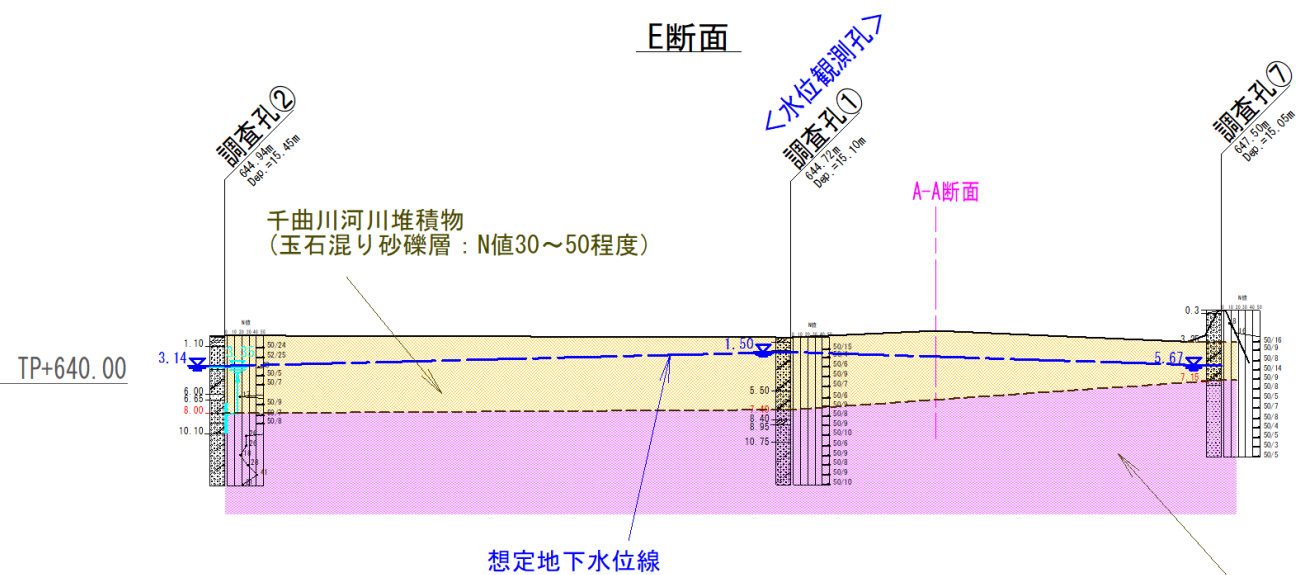
地層および地下水位は、ボーリング7本完了した段階の概略想定
詳細は、今後の調査によって明らかにしていく



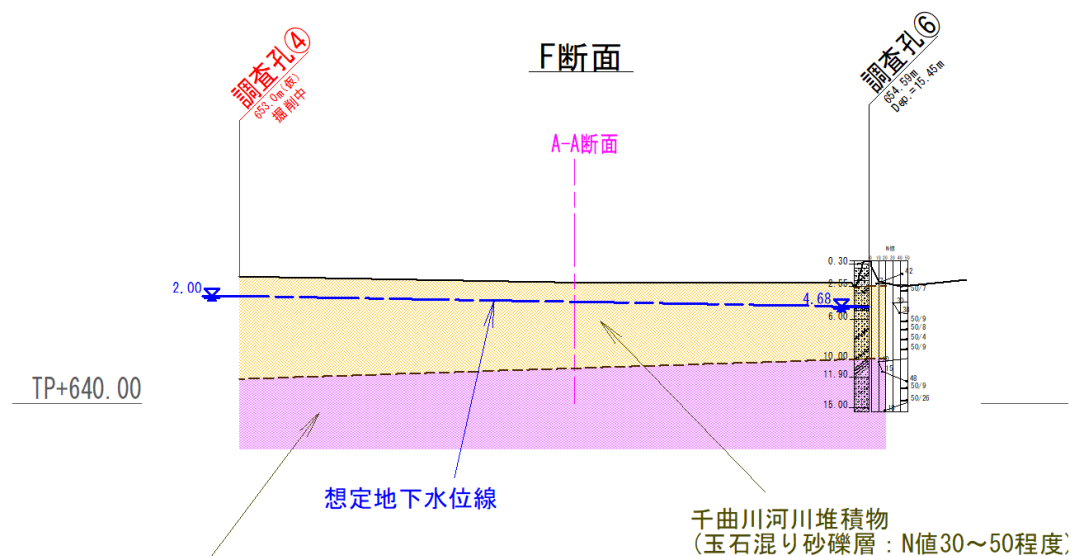
D断面



E断面

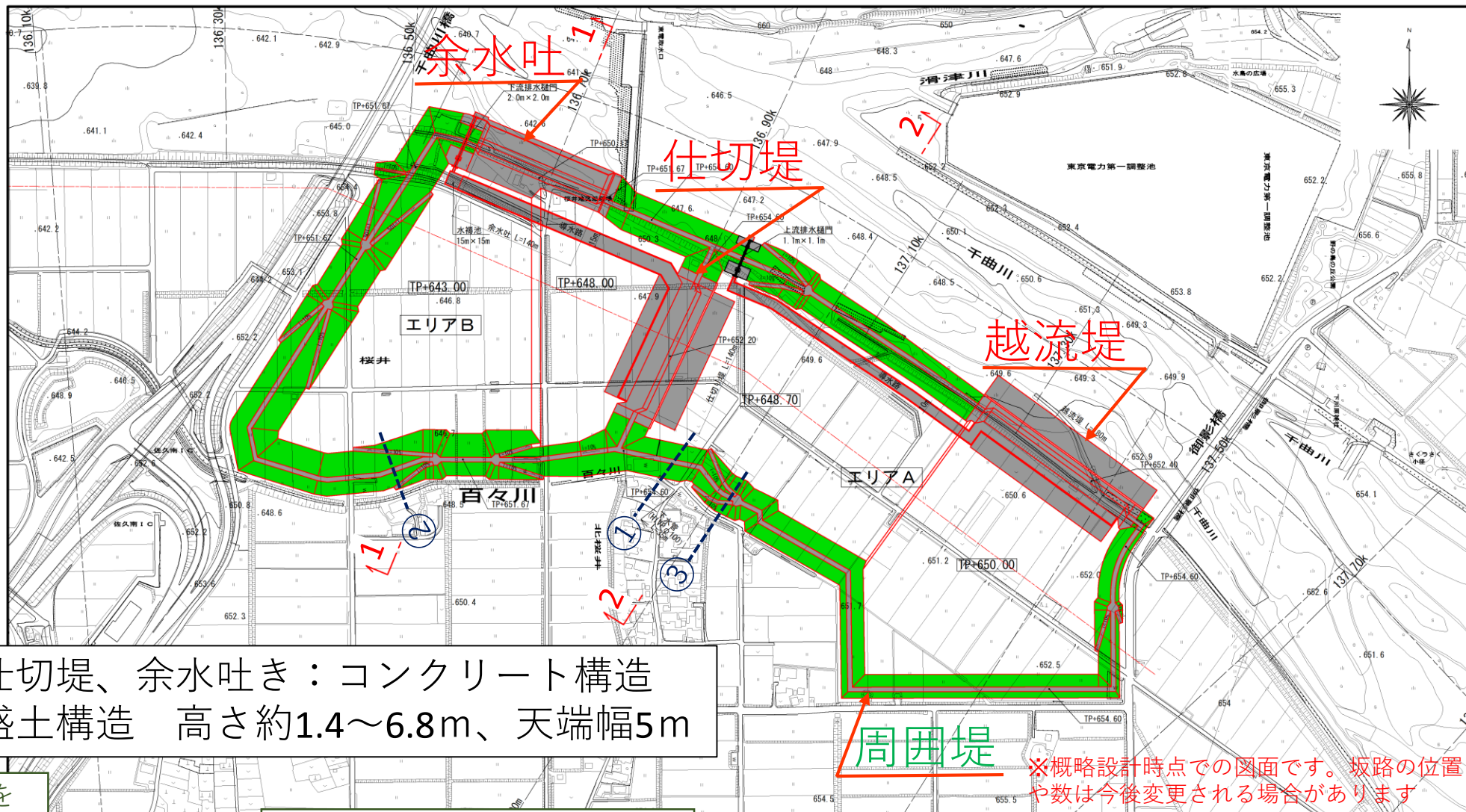


F断面



浅間山方面からの陸源性堆積物
(火山角礫岩、砂礫、砂質土等 不均一)

6. 遊水地の構造について



越流堤、仕切堤、余水吐き：コンクリート構造
 周囲堤：盛土構造 高さ約1.4~6.8m、天端幅5m

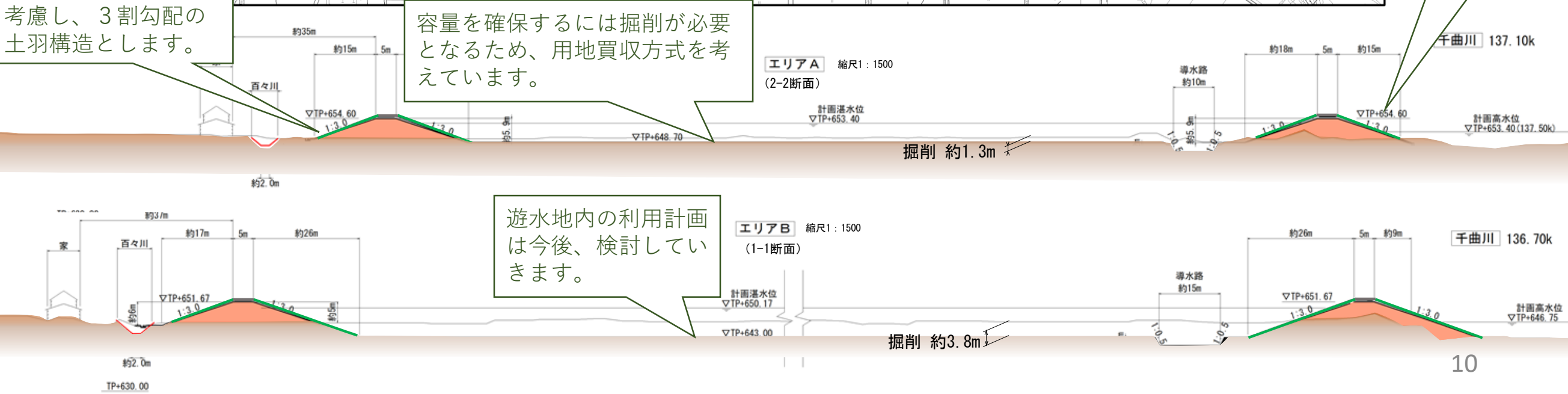
千曲川側はブロック護岸となります。

※概略設計時点での図面です。坂路の位置や数は今後変更される場合があります

周囲堤の維持管理を考慮し、3割勾配の土羽構造とします。

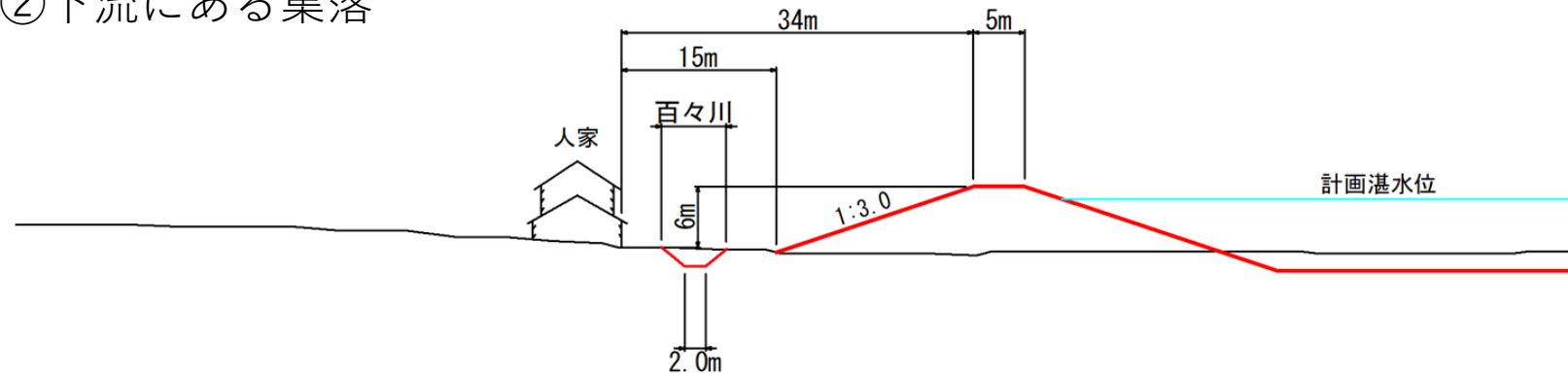
容量を確保するには掘削が必要となるため、用地買収方式を考えています。

遊水地内の利用計画は今後、検討していきます。



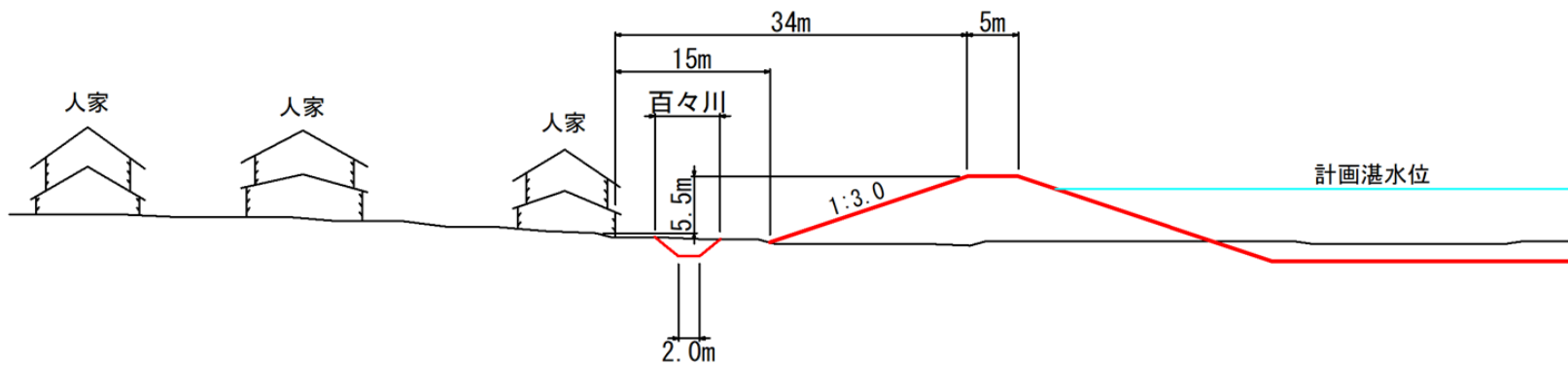
家屋と遊水地の位置関係 直近横断図 (イメージ図)

②下流にある集落



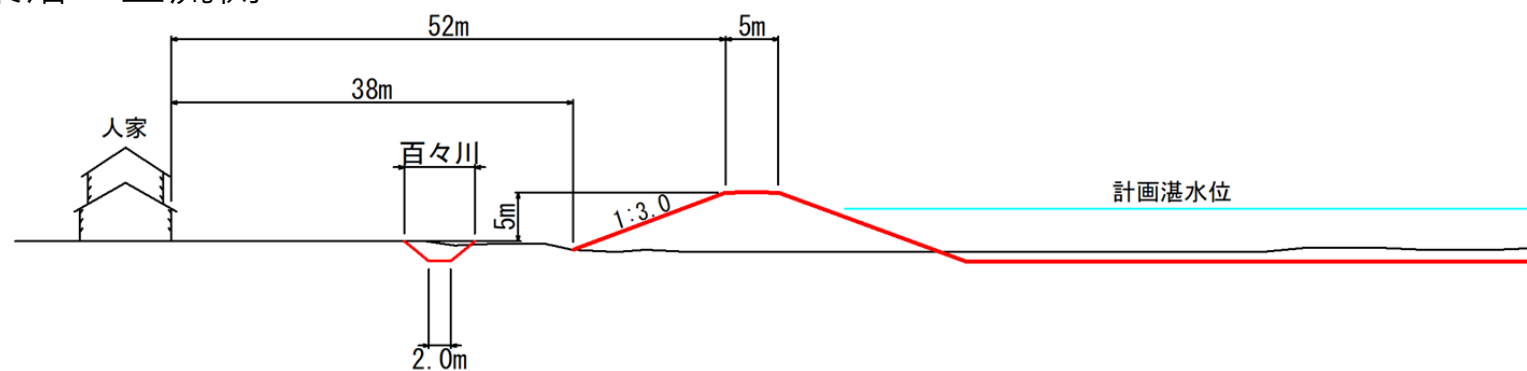
TP+630.00

①北桜井集落部 (真ん中)



TP+630.00

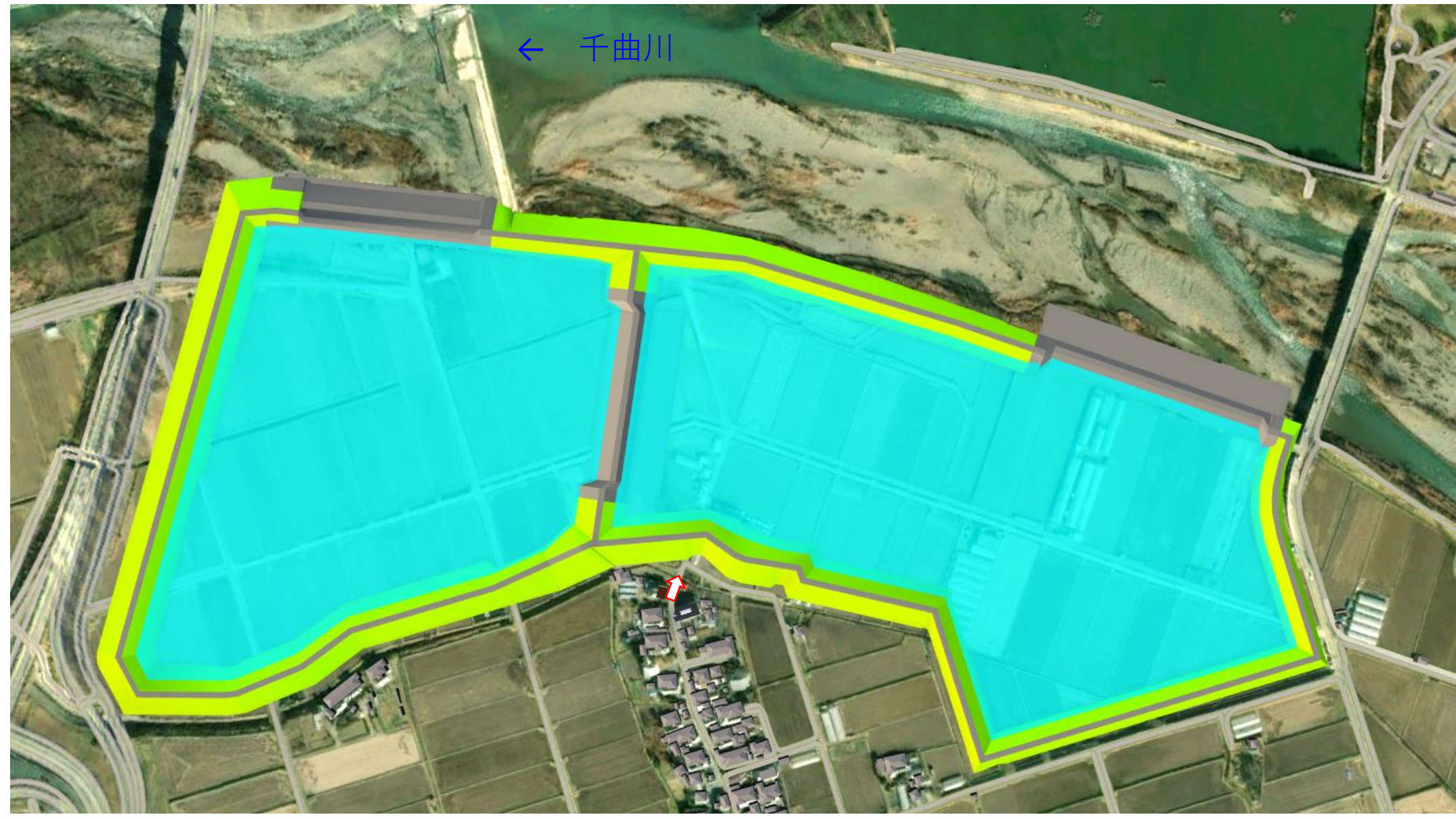
③北桜井集落の上流側



TP+630.00

前頁の平面図に記載する①、②、③の横断図を示しています。

遊水地計画 3次元立体モデル図 (全景)

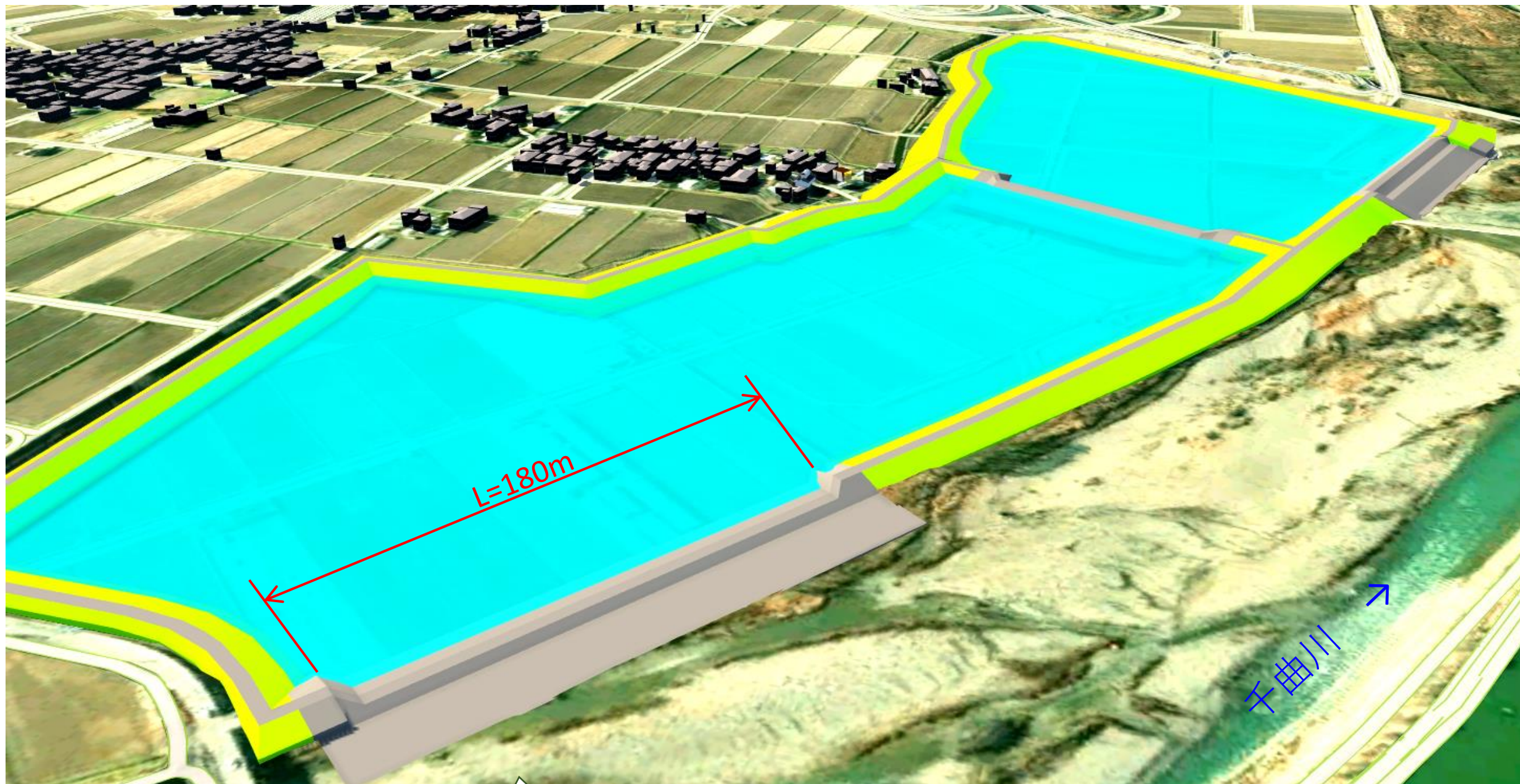


湛水している状態を表現しています。通常時は水は溜まっていません。



遊水地計画 3次元立体モデル図 (上流)

越流堤：コンクリート構造

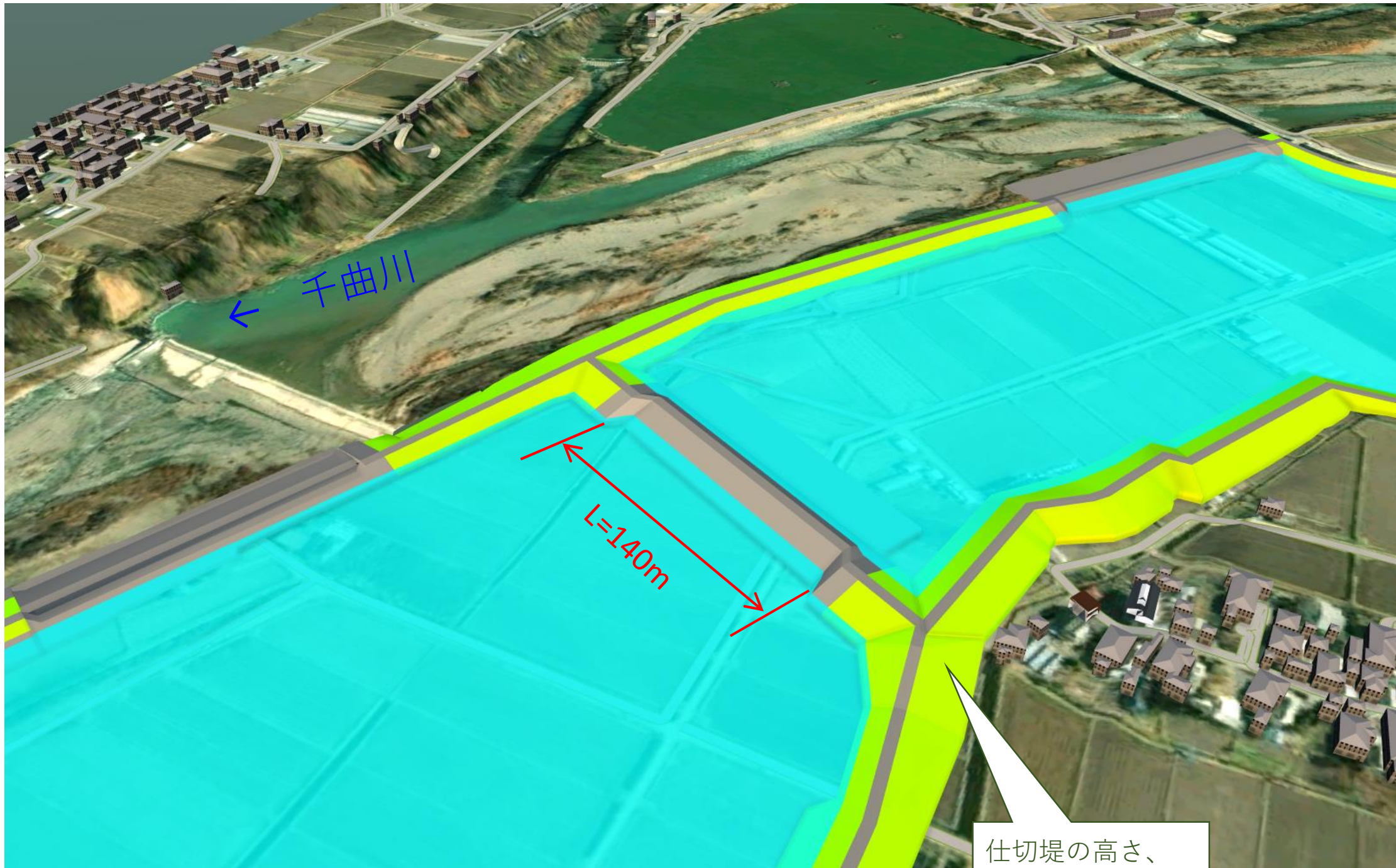


越流堤の高さ、
幅は模型実験で
決めていきます。

遊水地計画 3次元立体モデル図 (真ん中)

仕切堤：コンクリート構造

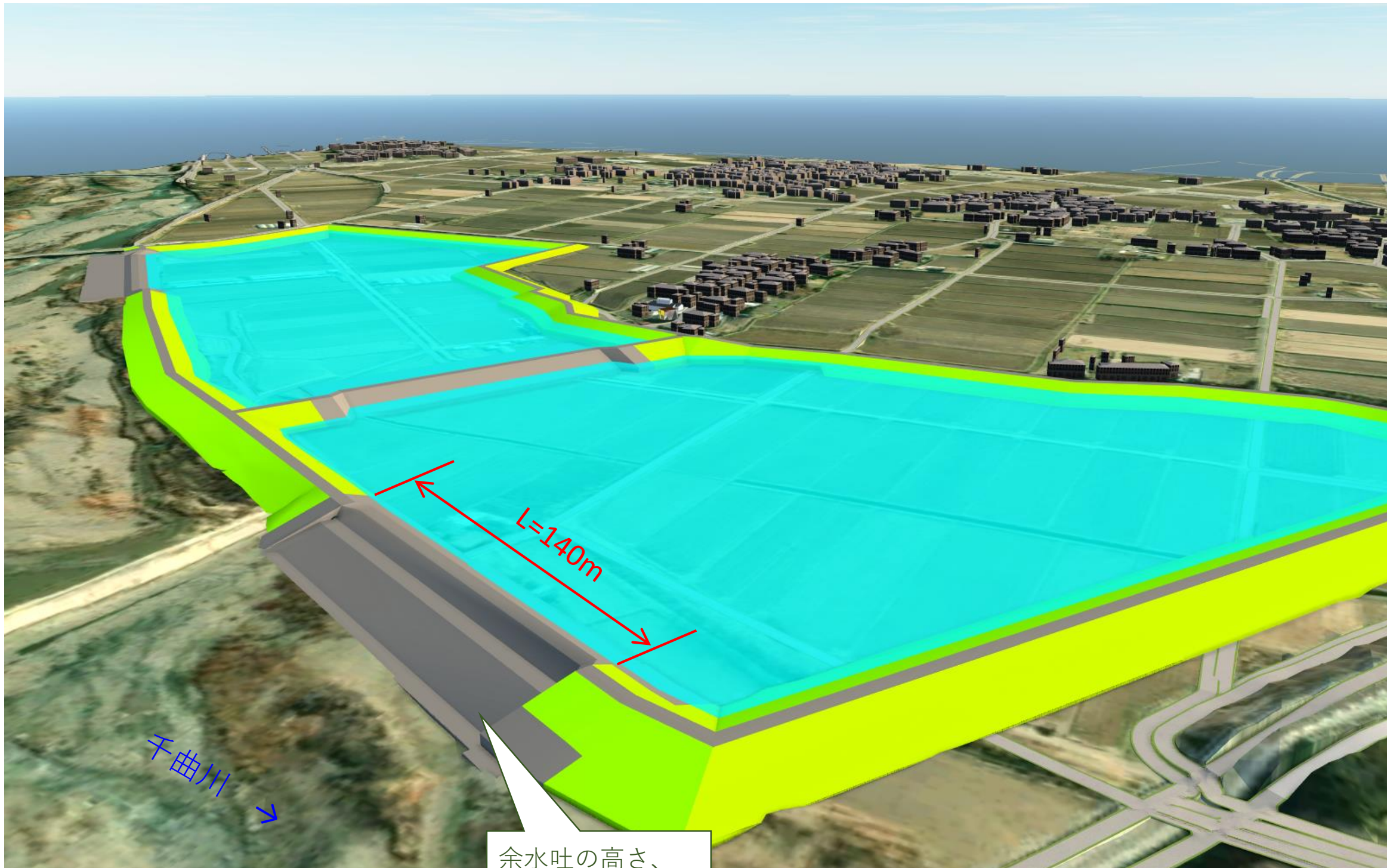
周囲堤高を低く抑えるため、仕切堤により2池に分割する



仕切堤の高さ、
幅は模型実験で
決めていきます。

遊水地計画 3次元立体モデル図 (下流)

余水吐：コンクリート構造

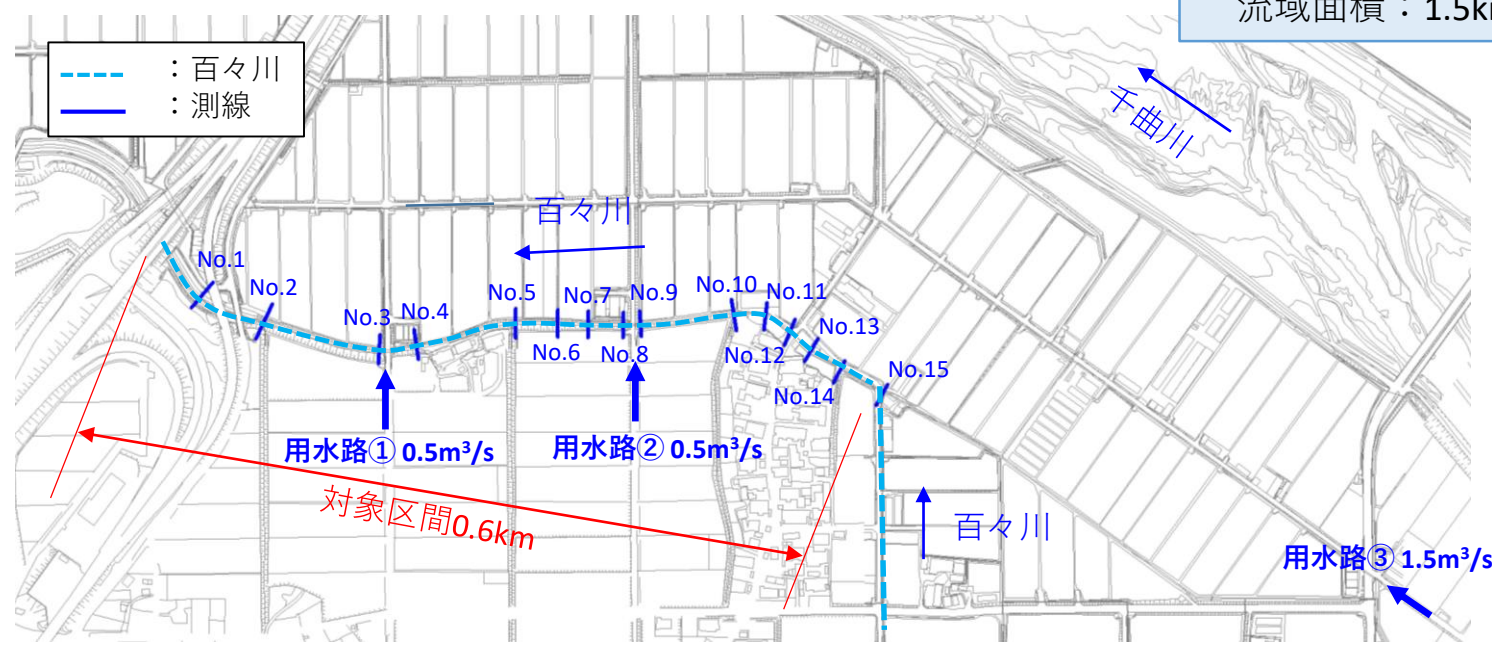


余水吐の高さ、
幅は模型実験で
決めていきます。

7. 百々川の河川改修について

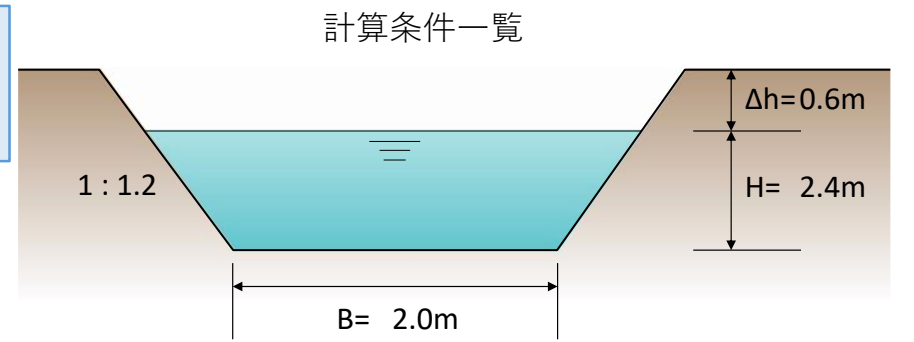
百々川の現況流下能力

【百々川改修計画諸元】
 計画流量: 33m³/s
 流域面積: 1.5km²

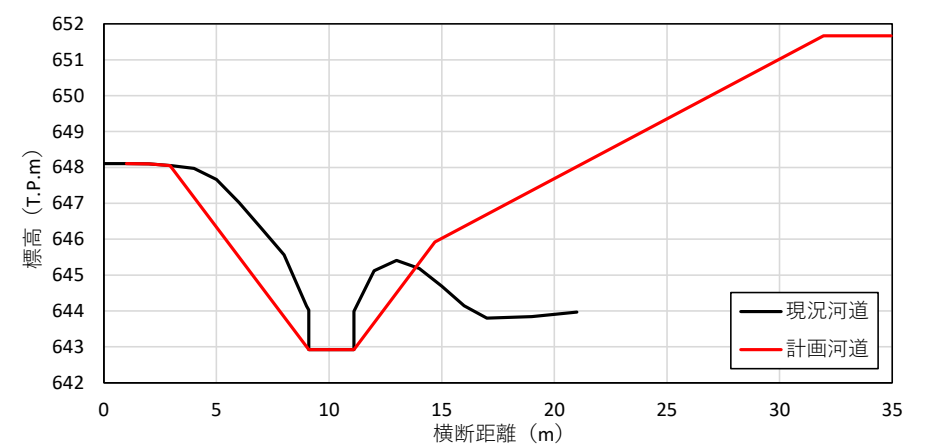


対象区間平面図、測線位置

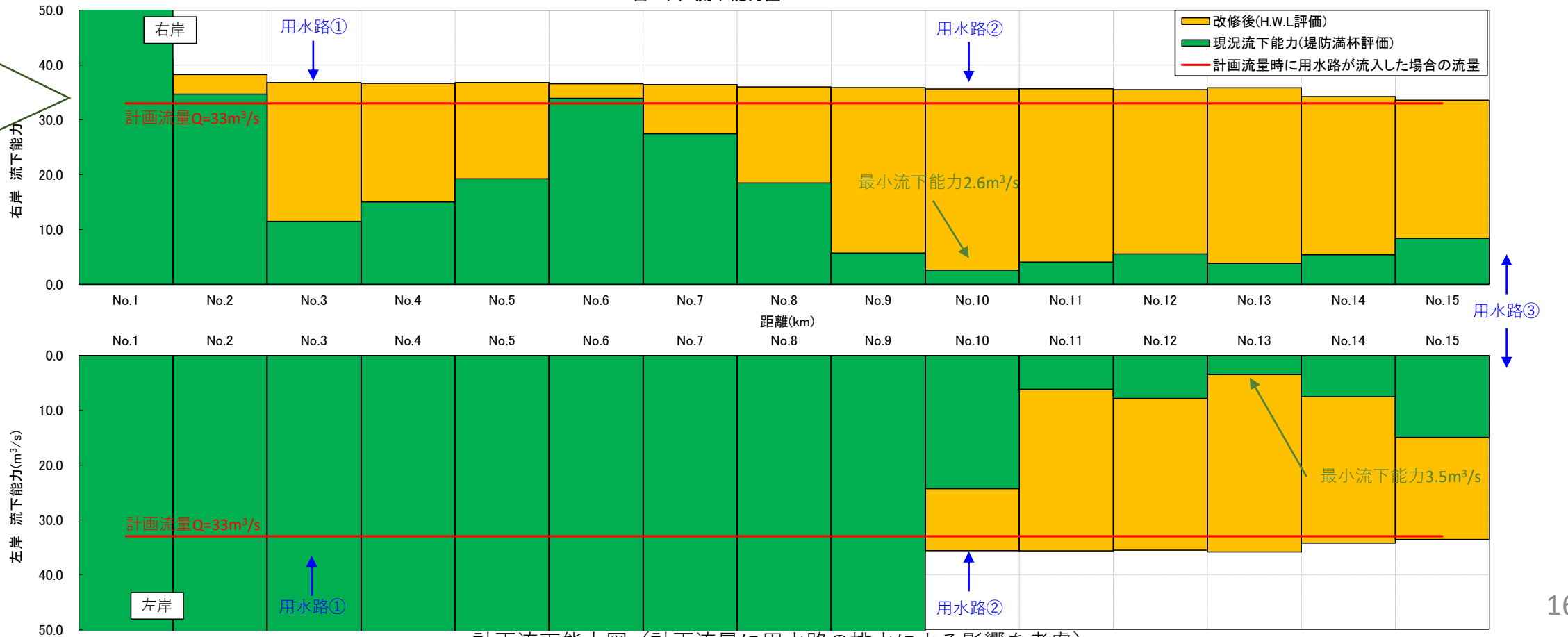
百々川 流下能力図



計算条件一覧



周囲堤により遮断され、集まってくる用水、雨水などが流れる断面に改良していきます。



計画流下能力図 (計画流量に用水路の排水による影響を考慮)

百々川の現況



下流部NO.2付近

中流部NO.15付近

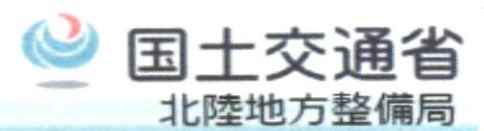


8. 今後のスケジュールについて

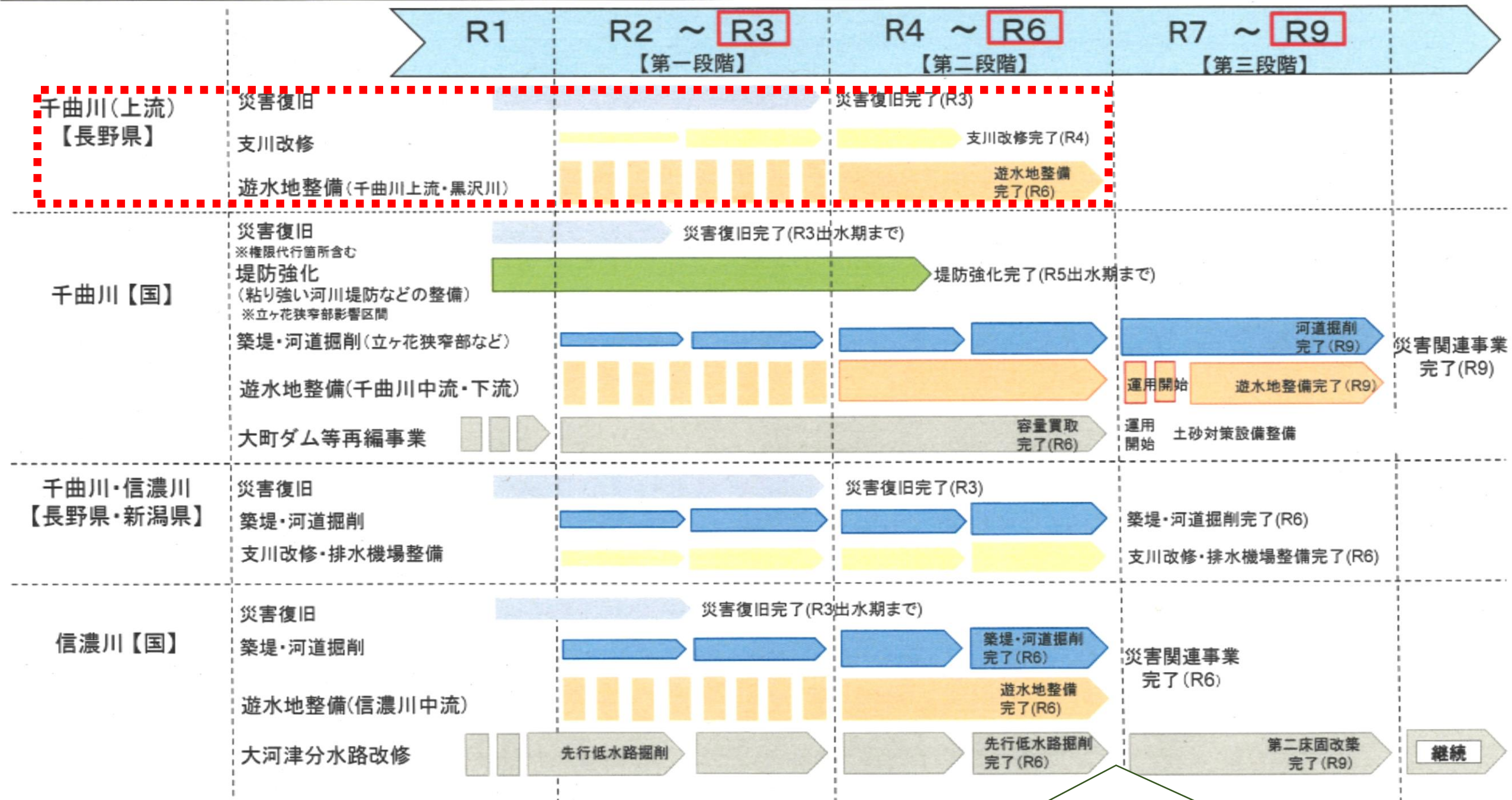
～みんなでつなぐしなのの川～
信濃川水系緊急治水対策プロジェクト

「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進

ロードマップ



- 【第一段階(復旧)】 災害復旧を令和3年度までに完了(国(権限代行含む)は令和3年出水期まで、県は令和3年度)。並びに大河津分水路などの下流域の整備に応じた河道掘削(立ヶ花狭窄部など)を順次実施
- 【第二段階(復興)】 改良復旧である堤防強化(粘り強い河川堤防構造など)や遊水地、大町ダム等再編事業(容量再編)を完了
- 【第三段階(復興)】 遊水地、河道掘削(立ヶ花狭窄部など)を令和9年度完了



国、県、沿川市町村が完成目標年次に向けて各々のやるべきことを実施し、令和元年東日本台風レベルがきても被害を出させないよう取り組んでいるところです。

おわりに 今回の住民説明後に実施したい事項

○周辺土地所有者様へ
提供地・借地の協力意向調査

遊水地内の地権者に代替地として提供できる方や営農者に貸出できる方（協力できる方）を募ります。

○遊水地土地所有者様へ
2回目意向調査

今回の説明を受けて、遊水地内の地権者方に事業の理解度、計画に対する意見、今後の土地利用の希望（買収、代替地など）をあらためてお聞きします。

○地区住民様へ
意向調査

今回の説明を受けて、遊水地の土地を所有していない周辺地区にお住まいの方に事業の理解度、計画に対する意見などをお聞きします。

今回の説明会でいただいた意見・要望等と実施します意向調査をもとに、遊水地計画を検討いたしまして、住民、地権者の皆様にお示ししていきます。

片貝川及び大沢川の減災に向けた取組み (VOL.2 令和3年4月)

○片貝川及び大沢川の河川整備について

令和元年東日本台風により、片貝川や大沢川では過去最大の床上床下浸水被害が発生し、当地域の減災に向け抜本的な河川改修を検討することとなりました。

片貝川・大沢川の整備対象の降雨：30年に1度程度の確率で降ると予想される降雨
 (令和元年東日本台風程度の雨より大きい降雨です)

【片貝川】
 水があふれたことで被害が生じたため、河道拡幅が必要となる
 現在の川幅を概ね4～5m程度拡げなければならない

前山や大沢下町には**家屋が連担**
 拡幅するためには家屋移転、用地買収が必要となり、長い時間がかかる

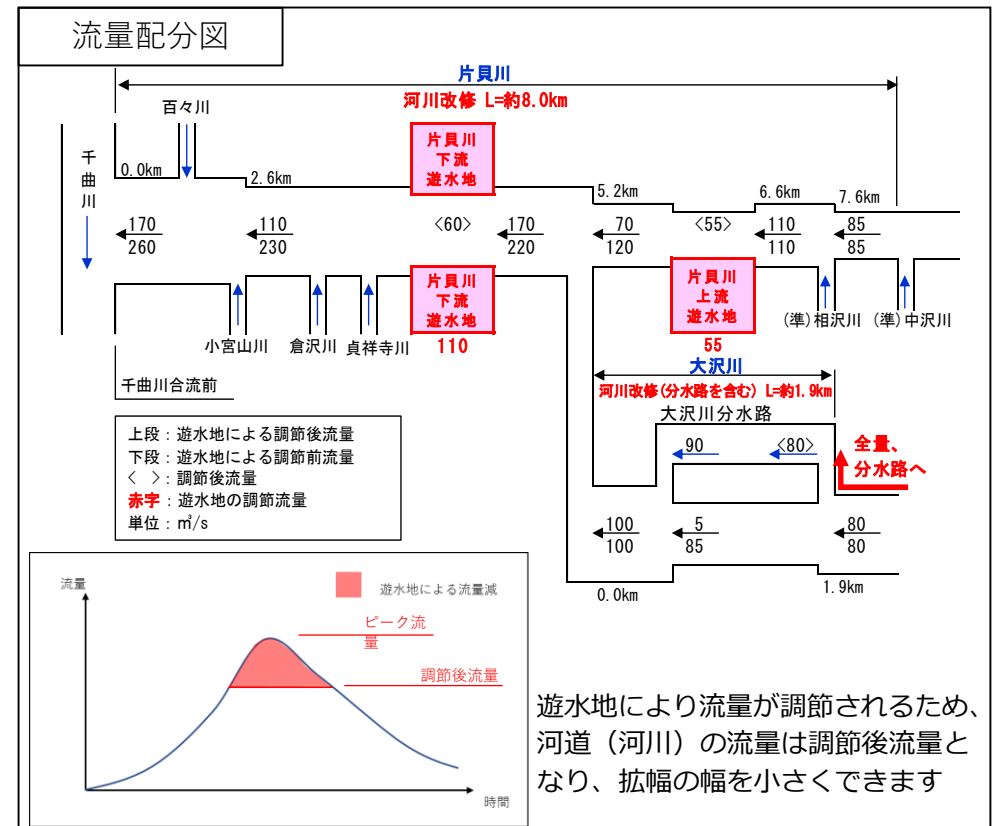
最小限の拡幅・掘り下げる河道改修により護岸を整備
 不足する分を遊水地に対応
 家屋移転等を可能な限り最小限にする

○今後の予定
 より詳細な検討を行えるように、測量・調査を実施したいと考えています。

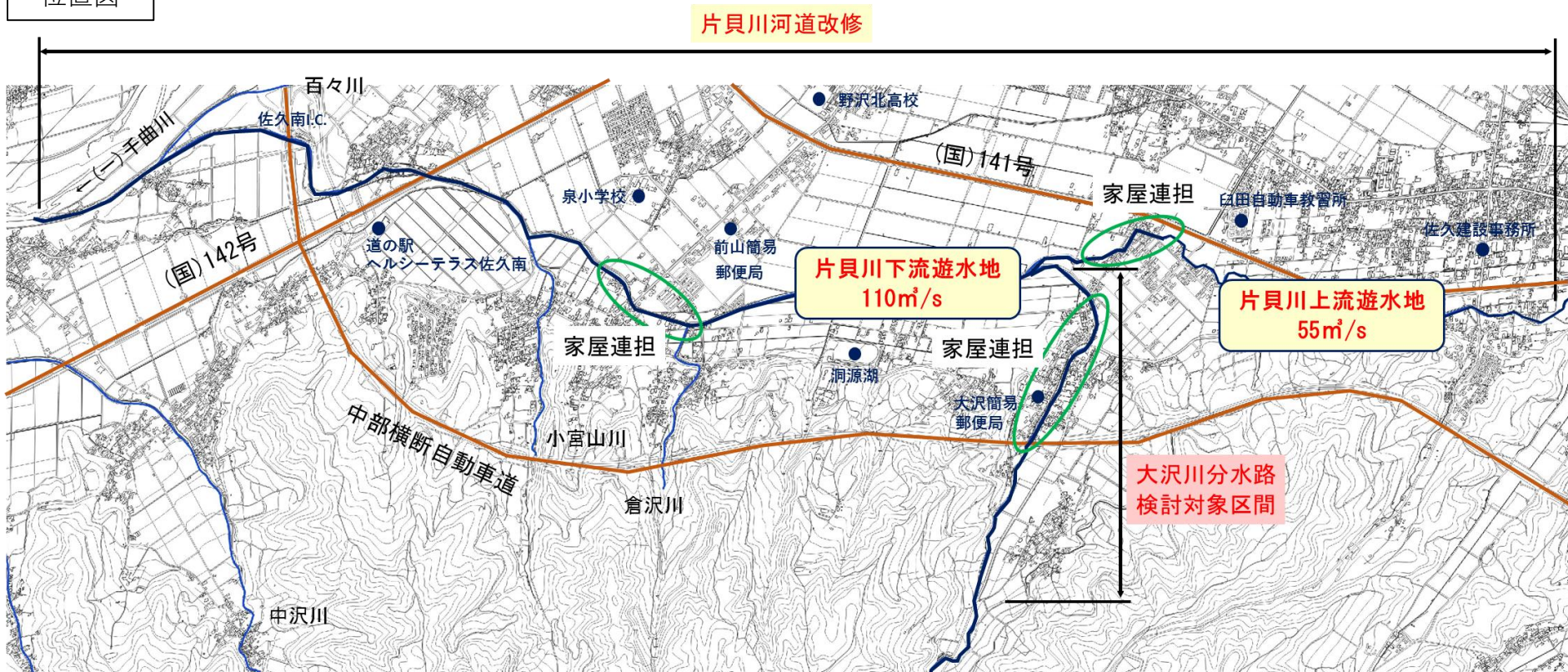
【大沢川】
 水があふれたことで被害が生じたため、河道拡幅が必要となる
 現在の川幅の2倍程度まで拡げなければならない

大沢下町・中町・上町には**家屋が連担、生活道路も並走**
 拡幅するためには家屋移転、用地買収が必要となり、長い時間がかかる

現在の河川の拡幅は困難
 新たな水路(河川)の整備



位置図



○遊水地とは
 洪水を一時的に貯めて、下流へ流す量を減らす施設です



※イメージ写真は高速道路の調整池

○分水路とは
 現河道の大幅な拡幅が困難な場合に、洪水の全部または一部を川から分けるために新たに開削する水路のことです



※東京都建設局HP(水道橋分水路)

遊水地の設置の実例（新潟県）

- ・事業名 刈谷田川災害復旧助成事業
- ・事業期間 平成16年～22年
- ・河川名 一級河川刈谷田川
- ・地名 見附市明晶～見附市河野町
- ・事業費 約34億円
- ・用地取得方式 地役権方式

刈谷田川遊水地 その大なる効果

新潟県では、平成16年の豪雨災害をうけて、刈谷田川の堤防の強化や、遊水地の整備などの洪水対策工事を進めました。

平成23年7月27日から7月30日に新潟県及び福島県で発生した「平成23年7月新潟・福島豪雨」では、新潟県内の広い範囲に大きな被害が発生しました。強い雨が

広範囲かつ長時間にわたり降り続け、刈谷田川上流でも、降り始めからの総雨量が416mmを観測しています。

幸いにも、刈谷田川では遊水地などの洪水対策の効果が十分に発揮されたことにより、下流地域の大きな被害を防ぐことが出来ました。



平成23年7月30日
刈谷田川遊水地 (B池、C池、D池) 湛水状況写真



平成23年9月13日
刈谷田川遊水地 (B池、C池、D池) 状況写真

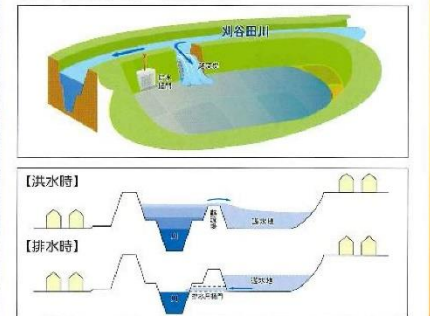
遊水地とは？

遊水地とは、洪水になったときに川の水を一時的にためるものです。上流に作った遊水地で、下流へ流れる水を減らし、堤防が破れるなどの洪水の被害を減らすことができます。

刈谷田川遊水地
遊水地面積 912,000㎡
計画貯水容量 2,347,000㎡



越流堤
遊水地は、堤防の一部に「越流堤」と呼ばれる少し低い場所を作り、洪水になったら川の水を取り込みます。洪水が収まったら、たまった水は排水樋門から川へ戻します。



平成16年7月13日



遊水地C・D池付近被災状況

平成23年7月30日



遊水地C池越流状況

寝屋川遊水地跡地利用（大阪府）



※この資料は大阪府のホームページから抜粋し掲載しています。



[問い合わせ先]

〒384-0301 佐久市臼田2015
(電話)0267-82-8274

長野県 佐久建設事務所 災害復旧課
課長:林春樹 企画幹 前田英己 担当:飯島良和